

平成25年度 第9回教育研究評議会議事録

日 時 平成25年12月18日（水）13:30～16:00
場 所 事務局大会議室、総合研究棟10階会議室
出席者 伊東、石井、碓氷、浅利、前田、柳澤、杉山、木村、東郷、中野、
鈴木、今野、寺村、平岡、梅澤、國宗、菅野、西原、酒井、藤井、
増田、青山、塩尻、佐古、星野、中山、糠谷、河合、鳥山、永津、
田中、三村、朴、高松の各評議員
欠席者 渡邊評議員
陪席者 大戸監事
中村、佐藤の各学長補佐

I 議事録の承認について

平成25年度第8回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

II 審議事項

1 静岡大学教員の任期に関する規則の一部改正について

石井委員から、工学系グローバル人材の育成を推進するため、専門分野のみならず、英語教育及び国際的視野の育成に貢献できる外国人教員の積極的な採用を促すことに伴う、標記規則の一部改正について、資料1により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、年俸制導入に被雇用者と相談する余地を含めた公募を行うよう発言があった。

2 掛川信用金庫との産学連携に関する業務協力提携について

木村委員から、本学と掛川信用金庫との産学連携に関する業務協力提携について、資料2により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、同委員から、今後、沼津信用金庫と業務協力提携を締結する予定であるとの発言があった。

また、議長から、各部局において信用金庫との業務協力提携の活用を促進するよう発言があった。

3 リガ工科大学（ラトビア共和国）との大学間交流協定の更新及び創造科学技術大学院とのダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について

鈴木委員及び永津委員から、標記大学間交流協定の更新及び創造科学技術大学院とのダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について、資料3により説明があり、審議の結果、ダブルディグリー特別プログラム覚書（英文）について一部再検討を行うこと及び参考訳を修正することで、承認した。

4 釜山大学校（大韓民国）との大学間交流協定の更新について

鈴木委員から、標記大学間交流協定の更新について、資料4により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

5 コメニウス大学（スロヴァキア共和国）との大学間交流協定の更新について

鈴木委員から、標記大学間交流協定の更新について、資料5により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

6 アレクサンドル アイオアン クザ大学（ルーマニア）との大学間交流協定の更新について

鈴木委員から、標記大学間交流協定の更新について、資料6により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、現在締結している大学間交流協定について、ジョイントディグリーの対応の可能性を検討するよう発言があった。

7 平成25年度学位記授与式及び平成26年度入学式について

総務部長から、平成25年度学位記授与式及び平成26年度入学式について、資料7により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

8 学生の懲戒について

杉山委員から、学生の懲戒について、別添資料1により説明があり、審議の結果、懲戒処分の判断基準の箇所を一部加筆修正することで、承認した。

なお、同委員から、「学生の懲戒に関する基準」の整理、同基準の整理を踏まえた学則の改正について検討中である旨の発言があった。

9 教員の休職について

増田委員から、平成25年9月30日より病気休職中の理学研究科教授を、引き続き平成25年12月30日から平成26年3月31日までの間、休職とすることについて提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

Ⅲ 報告事項

1 企画戦略会議報告

議長から、第8回企画戦略会議（H25. 12. 4）について、資料8により報告があった。

2 経営協議会報告

議長から、第5回経営協議会（メール審議 H25. 11. 11）及び第6回経営協

議会（H25. 11. 29）について、資料9により報告があった。

3 国立大学改革プランについて

議長から、文部科学省が示した国立大学改革プランの概要について、資料10により報告があった。

なお、議長から、各部局教授会において構成員対し、標記改革プランについて説明を行うよう要請があった。

4 国大協文部科学省との意見交換会・臨時学長等懇談会について

議長及び前田委員から、国大協文部科学省との意見交換会・臨時学長等懇談会において説明がなされた、大学が行うべきガバナンス改革、国が行うべき改革支援等の概要について、資料10により報告があり、本学においては、平成27年度に4研究科修士課程の統合による新研究科の設置、平成28年度に新課程の整理による新教育プログラムの導入等を着実に実施していくことが必要との発言があった。

なお、議長から、本学におけるガバナンス改革については、浅利理事を中心として検討を開始している旨発言があった。

また、前田委員から、今後の予算獲得に向けて、大学の改革構想、具体目標、工程等をどのように中期計画に明記していくか検討していく必要がある旨の発言があった。

（意見交換等で出された主な意見等）

○今後の予算獲得については、組織的・戦略的に検討を行う必要があるのではないか。

○ガバナンス改革については、役員会等において集中的に検討していく必要がある。

5 組織整備に係る文部科学省への事前説明について

石井委員から、平成27年度設置予定の「総合科学技術研究科（修士課程）」について、文部科学省への事前説明と意見交換の概要について、資料11により報告があった。

6 第二期卓越研究者の選定について

碓氷委員から、役員会（H25. 12. 11）において承認された第二期卓越研究者22名の選定経緯等について、資料12により報告があった。

7 ペラデニア大学（スリランカ民主社会主義共和国）との大学間交流協定の締結について

鈴木委員から、標記大学間交流協定の締結について、資料13により報告があった。

8 静岡大学防災プロジェクトについて

総務課長から、執行部体制の変更等に伴い整理された、静岡大学防災プロジェクトの体制について、資料14により報告があった。

9 教員採用等報告について

議長から、人文社会科学部1名、教育学部1名、情報学研究科1名、工学研究科3名及び農学研究科6名の教員の採用等について、資料15により報告があった。

IV その他

1 監事就任予定者の各会議への陪席について

議長から、平成26年4月1日に監事に就任予定である、櫻本勝彦氏について、平成26年1月以降の各会議（役員会・役員懇談会、経営協議会、教育研究評議会、企画戦略会議）に陪席願ひ、助言を頂戴することについて、案内があった。

以 上